



貴局新聞ノ讀者ハ多分當地ノ新報ヲ得ルヲ待
 ツハシ而ノ当地ニ於テハ種々ノ風説アル氏皆
 互ニ其趣旨ヲ異ニシトシテ其真ナルヲ保シ
 得ヘキ者ナシ
 右ノ中ニテ最モ著明ナルハ日本ノ事ニテ評

如シ



百七十四年九月十五日天津ヨリ報告尤ノ

ルド抄訳

千八百七十四年十月十三日「シヤパン」ヘラ

シヤパンニ百七十九号 二枚

大正十一年四月
 大隈侯爵邸寄贈

114
 A 130
 15



判ニハ新使節大久保ハ先ツ皇帝ニ謁見セント
述ハ若シ其謁見ヲ得サレハ直チニ歸國スヘキ
旨ヲ言ヒテ總理衙門ノ大臣ト相見ルヲ諾セス
然ルニ皇帝ハ大久保ニ謁見ヲ許ルヤ、ルニ回
リ此事此ニ於テ終ニ其極處ニ至レリ又貴君モ
既ニ知り給ヘル如ク使節ハ天津ニ於テ總督
面會スルナリシ蓋シ例式ニ據レハ使節ハ先ツ
總督ヲ訪フ可キニ大久保ハ之ヲ為サ、リシナ
リ又一説ニ支那人ハ日本トノ争ヲ一歐洲國ノ
裁定ニ任カセント示談セシカ日本ニ於テ之ヲ

承諾セサル由ナリ蓋シ日本ハ其小カニ比スレ
ハ頗ル大膽ニシテ巨大ナル隣國ト雖雄ヲ決マ
ツト為シ又支那ハ方今敢テ戦ヲ欲マスト虽モ
若シ果シテ交戦ニ至ラハ奮發シテ戦ノ可ク而
ノ若シ支那ニ於テゴビエリト社中ノ大蒸氣船又
ハ其他ノ大蒸氣船ヲ買収シ之ニ戦スルニクグリ
ユツプ砲又ハアームストロング砲ニ三门ヲ以
テスル時ハ夫ノ日本自身ノ革ヲ想像セル洋子
江ヲ溯テ鎮江南京漢口等ヲ一舉シテ砲撃スヘ
キ得意ノ甲鉄艦又ハ汽船モ亦必ス避易スヘ

ク又支那人、海上に於て日本人と戦ふに備へ
為し其船ノ強且速ナルヲ知リタレハ敢て日本
甲鉄艦ノ名ヲ聞テ之ヲ恐ル、者ニ非ス然レハ
現ニ親シク此回ノ紛紜ニ管セル支那官吏ハ其
形勢ヲ憂へ只管此事ノミヲ顧慮スル様子ナリ
而シテ余カ説ニテハ此兩國間ノ交戦ハ其双方ノ
為メ有益ナル可ク殊ニ支那ハ之レカ為メ其必
要諸品ヲ外國ニ仰カサル可カラサルヲ知り其
石炭、鉄器、船舶ヲ買収スルノ猶自國ニ於テ茶及
絹ヲ製スルト同シキニ至ルベシ

千八百七十四年十月十四日、エコー、デモ

ジャホン新聞抄記

私ノ報告ニ據ルハ大久保ヨリノ最後ノ啓信ニ
北京政府トノ談判平穩ニ決着スヘキ模様ナリ
ト蓋シ此説ハ未タ之ヲ信スルニ足ラズト雖モ
吾分文戦ノ恐レアルヲナク兩國間ニ満足ナル
約定ヲ為スニ至ル可シ

